

令和3事業年度

決算報告書

(第18期)

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人岡山大学

令和3年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,044,000,000	18,416,970,000	372,970,000	(注1)
施設整備費補助金	2,891,000,000	2,791,309,881	△ 99,690,119	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,812,000,000	7,488,621,011	5,676,621,011	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	52,000,000	52,000,000	0	
自己収入	41,804,000,000	41,560,730,564	△ 243,269,436	
授業料、入学科及び検定料収入	7,364,000,000	6,875,734,790	△ 488,265,210	(注4)
附属病院収入	33,674,000,000	33,776,133,363	102,133,363	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	766,000,000	908,862,411	142,862,411	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,542,000,000	6,401,282,891	859,282,891	(注7)
引当金取崩	565,000,000	566,066,089	1,066,089	
長期借入金収入	1,832,000,000	1,503,659,000	△ 328,341,000	(注8)
貸付回収金	8,000,000	10,549,608	2,549,608	
目的積立金取崩	472,000,000	320,524,666	△ 151,475,334	(注9)
計	73,022,000,000	79,111,713,710	6,089,713,710	
支出				
業務費	58,881,000,000	54,188,544,505	△ 4,692,455,495	
教育研究経費	24,842,000,000	22,966,646,521	△ 1,875,353,479	(注10)
診療経費	34,039,000,000	31,221,897,984	△ 2,817,102,016	(注11)
施設整備費	4,775,000,000	4,346,968,881	△ 428,031,119	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,812,000,000	7,060,034,591	5,248,034,591	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,535,000,000	6,053,578,678	518,578,678	(注14)
貸付金	23,000,000	19,053,334	△ 3,946,666	
長期借入金償還金	1,996,000,000	1,992,124,888	△ 3,875,112	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	73,022,000,000	73,660,304,877	638,304,877	
収入-支出	—	5,451,408,833	5,451,408,833	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、以下の要因により、予算額に比して決算額が372,970,000円多額となっています。

① 予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金及び基幹運営費交付金が措置されたこと。

(注2) 施設整備費補助金については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が99,690,119円少額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の増加や新型コロナウイルス感染症関連の補助金により、予算額に比して決算額が5,676,621,011円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金が427,402,500円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注4) 授業料、入学科及び検定料収入については、当初の在学者数等見込みからの減少及び新制度による授業料免除等のため予算額に比して決算額が488,265,210円少額となっています。なお、新制度による授業料免除(授業料等減免費交付金)は補助金に含まれています。

(注5) 附属病院収入については、診療報酬の新たな項目の算定等により、予算額に比して決算額が102,133,363円多額となっています。

(注6) 雑収入については、著作権及び特許権収入の増加やワクチン接種費等により、予算額に比して決算額が142,862,411円多額となっています。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入及び受託研究収入等の増加等により、予算額に比して決算額が859,282,891円多額となっています。

(注8) 長期借入金収入については、予算段階では予定していなかった借入不用額が生じたため、予算額に比して決算額が328,341,000円少額となっています。

(注9) 目的積立金取崩については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が151,475,334円少額となっています。

(注10) 教育研究経費については、経費節減、次年度以降へのインフラ整備等のための繰越により、予算額に比して決算額が1,875,353,479円少額となっています。

(注11) 診療経費については、経費節減、次年度以降へのインフラ整備等のための繰越により、予算額に比して決算額が2,817,102,016円少額となっています。

(注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が428,031,119円少額となっています。

(注13) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が5,248,034,591円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金の427,402,500円は、授業料等免除に使用しております。

(注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が518,578,678円多額となっています。